

『平成18年7月大雨対策における』

県の対応について

長野県は、今回の梅雨前線豪雨に対し、7月15日(土)の降り始め以降、7月17日(月)の「7.17大雨警戒本部」の設置、引き続いて7月18日(火)の、知事を本部長とした「平成18年7月大雨対策本部」の設置等により、県民の皆様の財産と生命を守るため、市町村と緊密に連携しながら「適時・適切・継ぎ目のない」災害対応を行っています。

● 事案別の対応状況

■ 信州新町における「犀川」増水への緊急対応について

7月18日 21:45	平成18年7月大雨対策本部を県が設置:第1回本部会議開催 ・犀川(弘崎)の水位上昇データから信州新町における、今後の危機的状況を勘案し、本部長(知事)が直接、中村靖町長に状況を確認 ・経営戦略局、土木部、長野建設事務所、長野地方事務所による支援チームの派遣を決定
7月19日 1:00	・長野地方事務所からサバイバルフーズ 3600食、飲料水 864本を町役場に提供
1:15	・支援チームが信州新町役場に到着、町長らと協議後、役場職員らとともに災害への対応を行う ・支援チームは、水位及び道路状況の把握を行うとともに、本部と連携しながら町を支援
1:30	第2回本部会議開催 ・支援チームから、町の状況、目視データによる水位を報告
3:45	・信州新町が災害対策本部設置 ・支援チームは、役場支援班と現場水位把握班に分かれて支援、危機管理局にタイムリーに情報提供を行う
4:30	第3回本部会議開催 ・支援チームは、本部会議と連絡を取り合いながら、町長・町議長・教育長、消防団長らとともに、水位の目視データを考慮して、町民の避難対応を検討。
6:10	・町から避難準備発令
7:30	・町から避難勧告発令
12:15	・犀川の水位が下がったことを受け、町が避難勧告解除
12:15	第4回本部会議開催
12:39	・避難者が全員帰宅
15:15	・支援チームは任務終了、帰還のため出発

■ 岡谷市内土石流災害への対応

7月19日 5:20	・諏訪建設事務所から危機管理局に土石流発生の一報 「4:40頃 岡谷市川岸東地籍、岡谷市橋原地籍で土石流発生」 「5:00頃 岡谷市湊地籍で土石流発生」
5:30	・本部長(知事)等に報告、対策を協議
5:42	・長野市消防局安川哲生局長に応援の準備を要請、了解を得る
5:47	・厚生労働省災害救助・救援対策室に連絡、消防庁に報告
5:48	・陸上自衛隊13普通科連隊へ連絡
6:07	・県から岡谷市を促し、市より自衛隊派遣要請を受ける
6:19	・本部長(知事)から堀切光彦連隊長へ自衛隊派遣を要請、受諾を得る
7:00	第4回本部会議開催
7:11	・自衛隊初動部隊29名が松本駐屯地を出発
9:00	・岡谷市災害対策本部に行方不明人数等を確認
9:00	・自衛隊後続部隊100名が松本駐屯地を出発
10:30	・松本地方事務所からサバイバルフーズ 1260食、水 768本、ラジオ 52個を湊小学校ほかの避難所に提供
12:00	・岡谷市災害対策本部より行方不明人数等の訂正連絡
12:15	第5回本部会議開催
16:40	・本部長(知事)現地視察

■ 天竜川直轄管理区間における堤防決壊等への対応

7月19日 10:35	・国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所から土木部に箕輪町内で堤防決壊(9:35発生)の一報
10:40	・伊那建設事務所が現地へ出発
10:45	・本部長(知事)等に報告、対策を協議
11:25	・伊那建設事務所より、伊那市内でも異変ありとの報告
11:30	・天竜川上流河川事務所に状況を問い合わせ、堤防本体でなく仮設坂路のみの被災であることを確認
11:40	・本部長(知事)等に再度報告
12:15	第5回本部会議開催
16:00	・本部長(知事)現地視察

※ 既に19日0:30の時点で、天竜川増水時の避難所として準備されていた箕輪町・南箕輪村・伊那市の公民館等へ、サバイバルフーズ 2640食、飲料水 1788本、ラジオ 840個を上伊那地方事務所から提供